経営比較分析表(平成29年度決算)

③流動比率(%)

H27

82 90

49.07

「支払能力」

⑦施設利用率(%)

H27

26.80

41.35

「施設の効率性」

31 60

42.90

H28

65 95

46.78

香川県 高松市

104.00

102.00

100.00

92. 00

当該値

平均値

100.00

90.00

80 00

70.00

60 00

50 00

40 00

30 00

20.00

10.00

0.00

当該値

平均値 53 01

H25

24. 90

100 00

100.21

101. 24

H26

29.03

66, 56

①経常収支比率(%)

100 13

100. 94

「経常損益」

⑤経費回収率(%)

H27

49.67

66, 22

「料金水準の適切性」

	業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
	法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
	資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
	=	47. 40	2. 17	100, 00	2. 461

200.00

180.00

140.00

100.00

60.00

40.00

20.00

0.00

当該値 0.00

平均値 137. 81

600.00

500.00

400 00

300.00

200.00

100.00

0.00

当該値

平均値 299, 39

H25

515. 20

H26

504.08

244, 29

[102.38]

H29

100.00

102.13

[75, 58]

H29

93.34

74.30

H28

100 00

100, 85

H28

94 77

69.87

②累積欠損金比率(%)

0.00

101.85

「累積欠損」

⑥汚水処理原価(円)

H27

436. 22

246, 72

「費用の効率性」

H28

225.95

234.96

0.00

184. 13

人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
429, 189	375. 41	1, 143. 25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
9, 273	4. 16	2, 229. 09

8, 000. 00

7 000 00

6 000 00

5, 000. 00

4, 000. 00

3 000 00

2 000 00

1 000 00

90 00

80.00

70 00

60.00

50.00

40 00

30.00

20 00

10 00

0.00

当該値

平均値 71.07

H25

53.40

H26

53. 56

82 35

当該値 6.738.91

平均値 1,554.05

[54.73]

H29

87 91

47.44

[42, 66]

H29

27.83

43, 36

④企業債務高対事業規模比率(%)

3 894 58

1, 434, 89

「債務残高」

⑧水洗化率(%)

H27

56.18

82.90

「使用料対象の捕捉」

H28

59 97

83 50

3 963 56

1, 298. 91

5 845 70

1, 436. 00

グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

分析欄

[1 225 44]

5 309 85

1, 243. 71

[82, 67]

H29

83 06

②累積欠損金比率については、平成28年度に土地 の一部を市長部局に無償譲渡したことに伴い発生し た譲渡損に伴う欠損金であり、平成29年度は欠損 金は発生していない。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体 平均値を上回っており、従来から、資本費平準化債 を積極的に活用してきたことに加え、平成28年度 こは、流域下水道移管に伴い、企業債を借入したこ と等が要因として上げられるが、平成28年度を ピークに今後は、施設整備事業債の借入額が減少し ていくことが見込まれていることから企業債残高も

特定環境保全公共下水道は、旧合併町が行ってい

経営の健全性・効率性について

減少していく。

特定環境保全公共下水道は、現状では、公共下水 道等と一体的に運営していることで維持管理費等 は、比較的低く抑えられていることもあり、⑤経費 回収率及び⑥汚水処理原価については、類似団体平 均値より良好な数値となっているが、地域的に人口 減少がより進んでいくことが見込まれるため、施設 利用率及び水洗化率の更なる向上は望みにくい状況 である。今後、経営状況は、更に厳しさを増すもの と見込まれることから、より一層、効率的な事業経 営をしていく必要がある。

老朽化の状況について

全体総括

適切な事業運営に努める。

事業運営を実施する必要がある。

:事業で、最も供用開始が早い町でも平成11年度 からと、公共下水道よりも整備時期が新しいため、 現時点では管渠の老朽化対策は行っていない。今後 の更新については、公共下水道を含めて優先順位を 考慮し、効率的に行っていく。

下水道計画区域内の整備が概ね完了し、今後は維

持管理業務にシフトしていくことから、下水道施設

全体の中長期的な施設の状態を予測しながら維持管

理、改築を一体的に捉えて計画的・効率的に管理す

現在は、平成27年度に改定し、経営戦略を兼ね

ることとした高松市上下水道事業基本計画(平成2

4年度~平成35年度)に基づき、事業を行ってい

るが、平成30年度に水道と下水道の組織が分離し

たことから、今後、新たな計画を策定し、引き続き

経営成績や財収状況を明確にしていくが、特に、特

定環境保全公共下水道の場合は、人口密集率が少な い地域が多いことから、公共下水道以上に効率的な

る方針としたストックマネジメント計画に基づき、

1. 経営の健全性・効率性

1, 600.00

1, 400.00

1 200 00

1,000.00

800.00

600.00

400 00

200 00

当該値

平均値

50 00

45 00

40 00

35, 00

30.00

25. 00

20.00

15.00

10.00

5.00

0.00

当該値 26.63

平均値 36, 20

0.00

H25

1, 421, 74

189. 40

H26

56. 12

63. 22

H26

26.86

43, 58

[102.97]

0.00

109. 51

[215, 23]

H29

155 47

221, 81

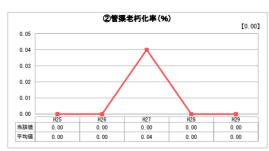
H28

17 83

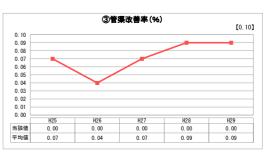
110.77

2. 老朽化の状況





「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

- 「流動比率」、 「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
- ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。